

ひろげる(伸張・伸長) ~わくわく登校 納得の下校~

・「運動の秋」

10月30日(木)秋晴れのもと、【第70回荒尾市親睦陸上記録大会】が行われました。

本校からも6年生が100m走、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げ、800m走、400M リレーに出場し、練習の成果を遺憾なく発揮してくれました。ここ数年は、夏の暑さで十分な練習ができていない中でも積極的に取り組み徐々に記録を伸ばしてきました。清里小の誇りを胸に堂々と粘り強い活躍している子供たちに感動を覚えました。



力走する子供たち

・「食欲・食育の秋」

給食の時間における食に関する指導では、「箸の使い方」を学びました。箸を使って物を移動させるといった短時間でできる簡単なゲームです。1~3年生と4~6年生のレベルに合わせたゲームを準備し、楽しみながら箸の使い方を学んでいます。

また、11月の給食には「大豆を使った食品が何回使われているか」「大豆は、厚揚げ、豆腐、もやしなど、いろいろな食品に姿をかえる」ことを給食センターから出される学校便りで学ぶことができました。3年生では、国語の授業で「すがたをかえる大豆」を学んでおり、学校給食と教科を関連付け、学校給食を「生きた教材」として考えることができました。



上手く箸が使えるかな?

・「学習の秋」

秋は学習しやすい季節でもあります。各学年で、各教科の学習を一生懸命取り組んでいます。

低学年の学習では、算数や生活科等でいろいろな物を活用した操作活動を取り入れ、子供たちが夢中になって取り組む姿が見られています。先生方のおかげで幼稚園・保育園等の「育ち」が、小学校での「学び」へと円滑に移行されていることがとても素晴らしいと感じています。また、「あらおベーシック」を基に低・中・高と「学びの連続性」も授業を参観して見えてきました。高学年に進むにつれ、その学びから発展し子供たちが自立した探究者として、個・ペア・グループなどや教科書、参考資料、インターネットなど自分の学びにあった学習方法を自分で選択するといった正に「きよぎとベーシック」で学びを深めています。



楽しい活動を通して学んでいく子供たち
(生活科)